

事務局より、資料1「宇宙基本計画(案)」に関して説明が行われ、本部決定された。

関係閣僚より発言があった。主な内容は以下のとおり。

中曽根外務大臣より、宇宙基本計画を踏まえ、宇宙関連条約の適切な実施¹、宇宙の開発利用に関する国際協力²等の施策を関係府省と連携しつつより一層進めていきたい³旨発言があった。

塩谷文部科学大臣より、宇宙基本計画に従って、安全・安心で豊かな社会の実現や、研究開発の推進による活力ある未来の創造、先端的戦略的産業の育成⁴などに向け、強力に施策を推進していく旨発言があった。

¹ 批准した国際条約に関し、国内法を制定しない事は上手くないので、当然思考する必要があるが、此処で特筆する事なのだろうか。

² 「国際協力」と云う用語を使うと、ISS に始まる国際協働の意味か、APRSAF の様な国際援助の意味か、判別が付かない。

³ 元気の良い話であるが、本当に ISS にもっと人材と人を注ぎ込むべきであるとお考えなのだろうか。宇宙飛行士は元気で外向的であって良いが、予算審議では及び腰を演じるべき処ではないだろうか。また APRSAF の様な活動に於いて、「貢献したい」と云う姿勢は感じられるが、其の活動を通じて「日本が得るもの」が外から良く見えないと思う。覇権主義ではないと考えて貰えるだろうか、然らば何だと幾ら考えても分らない様だ。

⁴ 勇ましい言葉を選ばれたが、何がどうなるの幾ら考えても答に辿り着けない。

二階経済産業大臣より、宇宙産業は宇宙利用の拡大を通じ他の産業に対する大きな波及効果を持った戦略産業⁵であり、宇宙基本計画が我が国の宇宙産業の国際競争力の強化及び中小企業等を含めた技術基盤の強化につながることを期待し、本計画の着実な実施に努めていく旨発言があった。また、小型実証衛星プログラムで、中小企業の支援が書かれており、中小企業でも宇宙にチャレンジできるという道が開いたので、これをしっかり今後育てていただきたい⁶旨発言があった。

斉藤環境大臣より、宇宙開発利用に係る施策の推進においても、地球環境問題への対応が着実に図られることを期待すると同時に、温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」による二酸化炭素濃度の観測について、関係省庁の積極的な協力をお願いすること、宇宙太陽光発電の取り組みの方向性が出されたことを嬉しく思う⁷旨発言があった。

⁵ 此れも勇ましいお話であるが、状況が正しく把握出来ているのだろうか。民間航空機よりも遥かに小さな市場に、沢山の国の沢山の企業が参加しているのが宇宙の現状ではないか。国家安全保障上の重要産業だから此の現状があるのではないか。

⁶ 中小企業にチャレンジの道が開いた事に反論する心算はないが、投下した資本の回収に時間が掛ると企業は潰れてしまう。大丈夫なのだろうか。例えば優れた技術を持っていて、其れを活かして供給できる部品があったとすると、宇宙に売り込むのが良いのだろうか、それとも自動車に売り込むのが良いのだろうか。

⁷ 宇宙太陽光発電衛星から目を逸らしてはいけないのであるが、熱を入れ過ぎてはいけない。急ぎ過ぎるとお金を失う。

浜田防衛大臣より、関係府省との連携を図りつつ、情報収集機能の拡充・強化、警戒監視等、安全保障分野における新たな宇宙開発利用⁸に積極的に取り組んでいきたいと考えている旨発言があった。

河村官房長官より、副本部長として、施策を着実に推進していくため、引き続き尽力してまいりたい、また、情報収集衛星について、所期の目標である四機体制の早期構築を目指すとともに、今後とも、情報の量の増加、情報の質の向上、即時性の向上等による情報収集衛星の機能の拡充・強化に積極的に取り組むと同時に、安全保障上のデータ管理のためのルール作り⁹についても鋭意検討していきたい旨発言があった。

甘利内閣府特命担当大臣より、9種類のシステム・プログラムに即して衛星を打上げることになっているが、システム間で衛星は併用するのか、準天頂衛星は多目的に使うのか、という質問¹⁰

に対し、事務局より、一つのシステムでは一つの衛星を多目的に使うが、それぞれのシステムでは別々の衛星を使うこととしていること、準天頂衛星については測位衛星として利用するが、今後実証試験を行った後に、多目的に使うことが可能であれば検討したい、また民生と安全保障とのデュアルユースについても、今後検討を進めていく旨回答があった。

石破農林水産大臣より、早期警戒衛星や、商業衛星よりも優れた情報収集衛星について、どの国が有しているのか、という質問があり、事務局より、欧州等についてはあまり情報がないが、米国が相当立派なものを持っているのは確認している旨回答があった。

最後に、麻生総理大臣より、国際的に競争が激化している中、将来を見据え、官民をあげて、宇宙開発利用に全力を投入することが不可欠である¹¹と発言があり、資料2「内閣総理大臣指示事項」を提示し、関係閣僚においては、本指示事項を踏まえ、宇宙開発担当大臣を中心に、政府一体となって、速やかに取組みを進めるよう指示があった。

以上

⁸ 前回の本部会合の同様の発言に対し、「開発」と「利用」のどちらを意識なさっているかわからないとして、両方のケースについての意見を記したが、今回の発言では「利用」しか考えていないと云う印象が強い。其れでは困る。

⁹ 基本は対して難しいものではなからう。「一般市場に流通している空間分解能より優れたデータは、デグレードさせてからでなければ決して出さない。」事と、「どこを撮像しているかを決して漏らさない。」事で、大部分カバーできているだろう。

¹⁰ こう云う質問が出て来て当然なんでしょう。何処が同じで何処が違うのかは、かなり熱心に比較しなければ見分けられない。専門家が知恵を絞り切ってシステムの概念を決めているので、変な

無駄はないと信じて下さったら良い。

¹¹ 「宇宙」の戦略会議だから、「宇宙開発利用に全力を投入する」と発言なさった。他分野の戦略会議の席上でどう発言なさるのだろうか。「目的語」が置き換わる事を危惧する。